

令和4年度第3回茂原市子ども・子育て審議会 会議録

日 時	令和4年12月20日(火) 13:30~15:15
会 場	茂原市役所 市民室
出席委員	中田会長、平井副会長、岡本委員、安田委員、柳瀬委員、篠田委員、 長島委員、佐野委員、澤田委員、鬼島委員、萬谷委員、青木委員、 荒谷委員
関係課	中村教育部長、佐久間教育部次長兼教育総務課長、伊藤学校教育課長、 宮内学校教育課主幹、安藤学校教育課学務係長
事務局	渡邊福祉部長、平井福祉部次長兼社会福祉課長、根本子育て支援課長、 齊藤課長補佐、岡沢子育て家庭相談室長、白井子育て支援課支援係長、 花沢主査、高橋主事
傍聴者	0人
配布資料	
・資料1	第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画中間年の見直しについて
・資料2	第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画 中間年の見直し(案)
・報告資料1	(1) 物価高騰対策補助金について
・報告資料2	(2) 東部第2学童クラブの進捗状況について
・報告資料3	(3) 茂原市子ども・子育て審議会委員(子育て当事者)の公募について

会議次第

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 議 事

第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画 中間年の見直しについて

- 4 その他

【報告事項】

- (1) 物価高騰対策補助金について
- (2) 東部第2学童クラブの進捗状況について
- (3) 茂原市子ども・子育て審議会委員(子育て当事者)の公募について

- 5 閉 会

会議要旨

(議事)

第2期茂原市子ども・子育て支援事業計画 中間年の見直しについて  
＜事務局から、資料1に基づき説明＞

(議長)

ただいま御説明いただきましたことについて、御意見等ございましたらどうぞ。

(委員)

サービスを拡充していただき、一時預かり事業を利用したい方がより多く利用できるようになってよかったですと思います。

登録者の方もかなり増えたと同っておりますが、日程の調整などで利用を希望していても利用できなかった方がいるのかを伺いたいと思います。

また、最も多い利用の理由を伺いたいと思います。

(議長)

事務局、答弁をお願いいたします。

(事務局)

利用の理由としましては、今回拡充しました、保育所の入所要件に満たない就労等の状況による理由が最も多いです。これまでの利用条件を拡充したことによって、利用が促進されたという状況です。

一日の利用定員もありますので、登録者が増えている中で、利用できないという方もいらっしゃるのが現状です。

事業の開始にあたって、乳幼児の健診等でチラシを配布するなど周知に努めたことが、このような結果に結びついたと感じております。

一時預かり事業につきましては、今後も引き続き実施していくとともに、実施箇所数を増やしていきたいと考えております。

(議長)

ありがとうございます。他に何かありますか。

鶴枝保育所で実施している一時預かり事業の利用者が増加しているとのことですが、地理的理由や人口増加など要因があるのですか。

(事務局)

専用型の一時預かり事業につきましては、鶴枝保育所の空き保育室を活用して実施したところです。

鶴枝保育所は市の南部に位置していますので、北部にも実施場所があると更に利用しやすくなると考えているところではありますが、他の保育所には空き保育室がないため、

今後の増加方法が検討課題となっております。

(議長)

ありがとうございます。

直近の状況に応じて修正していただいた今回の議案をみて、事務局の対応がスピーディで素晴らしいと思っております。

今後も、スピーディな対応していただけると、よりよい子育て支援が推進していくと思いますので、引き続きよろしく願いいたします。

他に何か御意見ございますか。

異議がなければ、中間年の見直しについては事務局案で承認するという事でよろしいでしょうか。

【異議なし】

(議長)

ありがとうございます。

事務局については、今後もこの計画の推進をよろしく願いいたします。

では、今年度の会議もこれで最後になると思いますので、この案件以外にも子育て支援について各委員に御意見を伺いたいと思います。

改めまして、何かご意見がありましたらお願いします。

(委員)

私は、健康管理課に所属しております。今話題になっているのが、妊娠届出時に5万円、出生届出時に5万円を交付する「出産・子育て応援交付金」という事業です。

これは、0歳から1歳までの年齢が児童虐待の6～7割を占めていることから、この年代になるべく支援が届くようにということが趣旨となっております。

お金がないから支援が受けられないのではなく、妊娠届出時に不安なことを吸い上げてサービスを紹介して、交付金を活用して少しでも安心して子育てができるようにしていきたいという事業となっております。

しかし、市内のサービスが充実してきているかという点、一時預かりの拡充やショートステイの整備予定等ありますが、他市と比べると少ないように感じます。特に乳児については預かれないこともあるので、乳児を対象としたサービスが少ないと感じます。

小さいお子さんと接する機会が、自分の子どもが初めてという方も多いので、お子さんとどういう風に向き合ったらいいかわからない状況で、お子さんとの生活がイメージと違い、孤立感を感じることもあると思います。そのため、乳児を預かれる施設がもっと増えてほしいと思っております。

また、不登校のお子さんがある家庭と関わることもあります。親自身に精神疾患や知的障害がある場合もあり、お子さんを学校に送り出すという力が家庭にないことがあります。

ます。不登校についてはお子さんの問題もあるかもしれませんが、親にも問題があるケースもあります。

学校は学習面だけではなく社会性も学ぶ場であるので、その機会が失われるというのはとても残念に思います。

学校の送り迎えをしてくれるようなサービスがあると、学校に行けるようになるのかなと思いますが、すべてを公的なサービスで賄うのは難しいとも思っております。かといって、個人情報などの問題もある中、地域で行うというのも厳しいと思います。

どうやったら子どもたちが、より健やかに育っていける地域になれるか、皆さんの知恵をお借りして考えて行きたいと思います。

子育てのサービスが充実して、お子さんたちがより健やかに育っていければいいなと思っておりますので、これが、今後の子ども・子育て支援計画にも反映させていければ良いと思います。

(議長)

ありがとうございます。

議事ではありませんが、事務局、なにか参考になる意見等がありますでしょうか。

(事務局)

一時預かり事業については、生後6か月から対象となっており、産後ケア事業については生後4か月までが対象となっていることから、2か月間サービスを利用できない期間があるのが現状です。

他市の状況を見ると、一時預かり事業として生後3か月からお預かりしているという事例もありますので、本市でも対象年齢の引き下げを検討していきたいと考えております。

(議長)

ありがとうございます。

続いてお願いいたします。

(委員)

児童相談所の業務としては8～9割が虐待対応となっております。児童相談所が関わるケースというのは、残念ながら虐待が起こってしまった家庭への支援となります。

地域で子育て支援がどれだけ充実しているかが、虐待を未然に防ぐことにつながっており、私共としましても非常に期待しております。母子ともに子育て支援を受けられていれば、こうならなかったらと思うケースもありますので、引き続き一緒に、どんなサービスがあればいいかを考えていきたいと思っております。

また、東上総児童相談所は管轄しているエリアが広いため、いろいろな市町村の担当者と話をするのですが、茂原市を参考にしたいといった声をよく聞きます。ぜひ、先駆

的に子育て支援に取り組んでいただければと思います。

(議長)

ありがとうございます。

お褒めの言葉をいただきました。事務局何かありますか。

(事務局)

ありがとうございます。

今後も、町村の参考になるように努めていきたいと考えております。

サービスを充実させ、虐待のない地域を目指していきたいと考えております。

(議長)

はい。

続いてお願いいたします。

(委員)

長生保健所の地域保健福祉課に所属しております、地域保健と福祉の業務を行っております。

地域保健としましては、御承知のとおり、今はコロナウイルス感染症の対応が多くなっております。

また、福祉については、家庭相談員や母子自立支援員、DV専門相談員等、様々な相談員がおります。先程お話にありました虐待に関することでは、DV相談の電話の聞き取りの中で、お子さんを持っている家庭がほとんどです。傾聴する中で、虐待のような状況をキャッチすることがあれば、所属長と相談の上、しかるべき対処をしています。

また、虐待が疑われる場合もそうでない場合も、各市町村と連携を取りながら対応しております。どのようなケースであっても、地域で親と子の両方を支えていかなければ、解決しないと感じております。今後も協力をよろしくお願いいたします。

(議長)

はい。

続いてお願いいたします。

(委員)

社会福祉協議会は、主に学童クラブを行っておりますが、保育士については、現在充足している状況でしょうか。

また、公立保育所等ありますが、地域型保育事業というのはどのような施設なのでしょうか。

この2点について伺いたいと思います。

(議長)

はい。事務局お願いいたします。

(事務局)

まず、保育士の充足状況についてですが、保育基準は満たしている状況ですが、気になるお子さん、特別な支援が必要なお子さんが増えている中で、実情としては足りてない状況です。虐待の問題が話題となっておりますが、人の余裕がないと心の余裕も生まれてきませんので、余裕のある職員配置について計画的に行っていきたいと考えております。

なお、茂原市では、出生数は減っている状況ですが、保育需要は横ばいの状況です。そのため、子どもの数が減っているから、保育所を縮小するのではなく、計画的に採用して、職員の余裕を持ちたいと考えております。

(事務局)

次に地域型保育事業についてお答えいたします。

一般の保育所等は県の認可事業となりますが、地域型保育事業につきましては、市町村の認可事業となります。

具体的には、0歳～2歳児を対象とした小規模の事業が多く、小規模保育事業、家庭的保育事業、事業所内保育事業、居宅訪問型保育事業の4つの類型があります。

市内には、小規模保育事業として、緑ヶ丘に「はぐくみ」という施設があります。

(議長)

よろしいでしょうか。

(委員)

小規模保育事業については、県の認可による事業ではなく、市の認可による事業という認識で良いでしょうか。

(事務局)

はい。

市の認可により、地域の実情に応じたサービスを提供する事業となります。

(議長)

よろしいでしょうか。

それでは、続いてお願いいたします。

(委員)

今、虐待については社会的な問題になっており、先程もお話がでたところですが、聞いていて心痛む状況でございます。親御さんの環境や経済的な問題等、色々な問題が虐待につながっているかと思いますが、虐待された子どもというのは、その記憶が一生残ると感じております。

ある施設で、貸衣裳をとおして、子どもに日本の伝統文化である七五三の思い出を作ってもらおうと、20名のお子さんに着付けや写真撮影を行いました。そのなかで、5歳くらいのお子さんが話してくれたのですが、その子が3歳の時に親から「七五三だからといって、別に着物を着なくていいんだよ。うちはそんなことしないから。」と言われたそうです。

親御さんも一杯一杯だったのかもしれないですが、親御さんの一時的な感情で、なんでそんなことを子どもに言ったのだろうと思いました。虐待というのは、一時的ではなく、繰り返され、親御さんの心に余裕がなかったり、時間的にも余裕がないために起こるのだと思います。

市のなかで、親御さんの話を聞いてあげる時間や、人と接点を持つ機会を作ってあげたら良いかと思います。人によっては拒絶するかもしれませんが、虐待によって、子どもの心にしこりができてしまうと、なかなかとることはできないと思いますので、そうならないように虐待に対しては真剣に取り組んでいただきたいと思います。

また、来年度の保育園、幼稚園の入所状況についても伺いたいと思います。

(議長)

はい。事務局お願いいたします。

(事務局)

児童虐待に対する取り組みといたしましては、市では妊娠届出時から親御さんに関わっており、面接によりご不安があれば、担当が相談に乗るというようになっております。

親御さんのなかにはそういった関わりを拒まれる方もいらっしゃるかと思います。可能な限り、健診の機会や、電話によってお子さんの安全を確認しております。

子どもが安全に生活できるように配慮しているところですが、市と関わるのを拒む方もいらっしゃいますので、できるだけ寄り添った対応をしております。

なお、令和5年度の保育所等の申込状況につきましては、令和4年度とほぼ同等の申込状況となっており、現時点では2・3号が394名、1号が81名となっております。

(委員)

ありがとうございました。

(議長)

はい。

その申し込み状況の数字については中間年見直しの内ということで良いですか。

(事務局)

計画との整合性についてですが、現在利用調整中であるため、現時点では分かりかねますが、昨年度と同じ状況ということから計画の見込み内には収まると考えております。

(議長)

はい。

続いてお願いします。

(委員)

今、多くの委員から虐待のお話が出ておりますが、学童クラブの児童から、家で言葉の暴力を受けているという話を聞きました。そのお子さんが適切な養育を受けていないこともあったため、子育て支援課の方に連絡いたしましたところ、非常に迅速に対応していただきました。ニュースで児童相談所の対応が遅く悲しい結果になるなど耳にしますが、今回の迅速な対応には感謝しております。

学童クラブの申込については、定員を超えて来年度の申込が来ており、今審査をしている状況です。当学童クラブは保育時間が長いので、学区内に転居してきたという家庭もいらっしゃいます。

なかなか大変だとは思いますが、保育時間や保育内容が学区によって差がでないように、市内に何か所か保育時間が長い学童が出来れば、1か所に申込が集中しにくくなると思います。

また、市内学童保護者や支援員から、運営をどのようにしているか質問を受けることがあります。学童利用者にアンケートを実施して、利用者からの意見をくみ上げて、保育時間や保育内容を検討する予定はありますでしょうか。

(議長)

はい。ありがとうございます。

建設的な御質問、御意見でありましたが、事務局いかがでしょうか。

(事務局)

学童クラブの保育時間についてですが、公設学童クラブが18時30分まで、民設学童クラブは各施設によって時間が異なります。

親御さんの就労時間によっては、18時30分までのお迎えができない、保育時間が長くなってほしいという意見も出ております。

しかし、時間を長くしますと、支援員の勤務時間の問題もありますので、その問題を解決しながら進めていく必要があります。

今後はアンケート調査を行って、希望する保育時間や潜在的な保育ニーズの把握に努



めていきたいと考えております。

(委員)

ありがとうございます。

(議長)

はい。

いろいろと大変なことはあると思いますが、ニーズを的確にとらえていち早く対応できるとよいと思います。

それでは、続いてお願いいたします。

(委員)

小学校についてですが、特別支援が必要な子というのが大変多くなってきております。文部科学省の発表では7年くらい前までは、6.6%くらいでしたが、今では義務教育で8%を超えており、小学校では10%を超えているという状況です。

その子どもたちが、学童クラブにお世話になっており、声の調節ができず、悲鳴のような大声が聞こえてくることがあります。支援員さんが止めようとしても止められないような状況です。

今、コロナ禍で表情が見えない状況であり、大人の厳しさが伝わらない、職員の注意、職員の声が子どもに伝わりにくい現状です。そのような中で、学童クラブの先生は本当に大変な状況にあると思います。子どもを追いかけて捕まえようとしたことが、「虐待」となってしまうなど、現場にいると必ずしも、そうではないと感じることもあります。

学童クラブの先生には苦勞をかけておりますが、支援員の人数は足りているのか、支援員の意見を聞くアンケート等の情報があれば教えていただきたいです。

(議長)

はい。

事務局お願いいたします。

(事務局)

特別な支援が必要な子がいて、現状の支援委員の人数では大変だという話は学童クラブから伺っております。

支援員の離職を防ぐためにも、支援員の負担軽減策を検討していく必要があります。

小学校では専門の講師を呼んで研修を行っているというので、参考にしていきたいと考えております。

(委員)

ありがとうございます。

本当に厳しい状況であると思います。  
学校も研修を続けていきたいと考えております。

(議長)

はい。  
続いてお願いいたします。

(委員)

私自身は、子どもをお預かりするような仕事をしている訳ではありませんが、委員の皆様のお話を伺って、大変なことをしていただいていると感じております。一保護者の、自分の子どもの状況での目線ですが、皆様のお話をお伺いして、全体間を持って勉強になると感じております。

私自身、茂原市で生まれ育ったわけではないのですが、以前住んでいた市と比較して違いを感じる場合があります。

子どもが小学校と中学校でお世話になっておりますが、グラウンドが悪いとか、校舎が古くて狭い、子どもたちの体格が変わってきている中で小さい学習机を使っている等、もう少し環境が良くなれないかと思っております。

すぐには改善されないとは思いますが、長い目で見た改善計画などはありますでしょうか。

また、最近では「教育格差」という言葉を耳にします。先日、全国の中学校の学力の記事を見て、千葉県が38位と知りました。中学校で話を伺っても、ほとんどのお子さんが塾に通っていると聞きます。お金をかけられる家庭は学力が上がっていて、お金をかけられない家庭はそうではないというのは確かにあると感じております。

学力が向上するためにどうするか等、お考えがあれば伺いたいです。

(議長)

ありがとうございます。

(事務局)

ただいまお伺いした内容について、グラウンドの状況が悪かったり、施設が老朽化していると意見をいただき、お子さんにご不便をおかけして申し訳なく思っております。

グラウンドの整備については多額の費用を要することとなりますので、国や県の補助金を活用しながら整備していきたいと考えております。

各学校の先生からも、グラウンド等の状況の御指摘をいただいている状況であり、それを考慮しながら今後とも実施していきたいと考えております。

校舎につきましても、築40年以上経過しているところがほとんどでございます。こちらにつきましても、「茂原市学校施設長寿命化計画」という計画を策定しまして、順繰りに実施を検討しております。

ご不便をおかけしますがよろしくお願いいたします。

(事務局)

学力につきまして、千葉県が38位というのは、「全国学力・学習状況調査」の順位のことだと思います。

やはり、順位に関心は強く、県教育員会でもいかに学力を向上させようかということで、方策等が示され市町村におりてきます。これを受けまして、ちょうど本日、代表を集めての学力向上委員会が開催され、対策を検討しております。この結果を各学校に周知し、傾向と対策を立て取り組んでまいります。

なかなか、学力は一朝一夕には上がらないものですが、このような取り組みを続けていくことで、学力の向上を目指しております。

(委員)

ありがとうございました。

(議長)

ありがとうございました。

学力がすべてではないですが、いい方向に進んでいけばと思います。

先程のお話にも少しありましたが、近所の登校班を見ておりますと、高学年になると急激に大きくなったと感じております。学校の机などは、体に合ったものを使っているのでしょうか。

(事務局)

椅子や机につきましては、毎年、学校に購入希望調査を行なっております。すぐに、全員に新しい椅子、机が行き渡るということは難しい状況ではありますが、体に合ったものを使えるよう順次対応をしております。

(議長)

はい。ありがとうございます。

続いてお願いいたします。

(委員)

私立幼稚園としては、親御さんと過ごす時間を大切にしてほしいと思っております。

幼稚園くらいの年齢ですと親からの愛情を受ける大切な時期だと思っておりますので、そのことを親御さんに伝えていきたいと考えております。

また、幼稚園でも支援が必要なお子さんは増えてきていると感じており、教員の人数で見切れない状況の際は、親御さんに付き添っていただくようお願いすることもあります。

お子さんと親御さんが一対一で過ごしている間は、支援が必要な部分というのは見えず、集団に入ると見えてくることがあります。幼稚園での行事の際には、親御さんにお子さんと一緒にいてあげてくださいと依頼することがあります。その際、親御さん同士で励ましあうこともあります。

学童については、支援が必要なお子さんを預かってくれるところもあり、お子さんにとっても良いことだと思います。一人ひとりをきめ細やかに見てくれる学童があれば、よりよい支援を受けられ、学校生活もよくなると思います。

コロナの影響もあるかと思いますが、以前企画していただいていた、小学校1年生の先生との交流がまたできるといいなと思います。その時に小学校の様子などをお伺いして、今後の参考にさせていただければと思います。

(議長)

はい。ありがとうございます。

今はそういう活動はないのでしょうか。

(事務局)

今はコロナ禍の影響があるかと思いますが、以前から保育所や幼稚園等、次に小学校に上がってくるお子さんがいるところに出向いて、聞き取り調査等を行っておりました。

ぜひ、幼稚園からも、お子さんが次に関わる小学校に連絡を取っていただき、交流を図られるとよいと思います。よろしく願いいたします。

(委員)

申し送りとしまして、卒園予定のお子さんについて、各学校にお電話等で連絡をしております。特に支援が必要なお子さんについては、時間をいただいてしっかりとお伝えしております。

それだけの交流にならないよう、私立幼稚園から小学校へ連絡をとっていこうと思います。

ありがとうございました。

(議長)

はい。積極的に交流をしていただきたいと思います。

続いてお願いいたします。

(委員)

昨今、全国各地で保育者による園児への虐待ということで、あつてはならないことを引き起こしております。直近のニュースでは、松戸市の小規模保育でも起こり、全国で逮捕者が出ております。私としても、いつかはこのような問題が出てくると思っておりました。

10年くらい前から保育園では、親による虐待の傷などを朝の受入れ時に見つけた場合、すぐに児童相談所に連絡しており、親御さんによる虐待をいち早く見つけて通報するという教育を職員に行っておりました。数年前から、保育者の言葉が悪いというのに気づきまして、言葉による虐待を防ぐための研修を、新人採用のオリエンテーションで実施しております。必要に応じて、どんな言葉がいけないのか、いい言葉への置き換え方などの研修も行っております。

保育士の余裕がない、保育士と園児の割合の問題や、これが戦後から変わらないままでいいのか、日本は子どもに対してお金を使うパーセントが低くていいのかなどニュースで取り上げられています。

やはり、長時間子どもたちと一緒にいて、子どもたちの騒ぐ声を聞いているなかで、だんだんおかしくなってしまうと、急に激高してしまう方もいらっしゃいます。

しかし、保育士になるということは、子どもが好きだとか、子どもを一日みてもいいという考えをもって保育士になっていると思います。保育士になるハードルを高くした方がよいとは思いますが、保育士が不足する中では、なかなか難しいところです。これから私共も、保育士の教育をしっかりしなくてはと考えております。

二つ目に、医療的ケア児を一般の保育園でも受け入れるようにという制度が出来ております。船橋の友人の園長も、医療的ケア児の申込があり面談したとか、松戸市や浦安市では公立保育所で何とか実施していると伺っております。

人工呼吸器につながれて寝たきりのお子さんや車いすのお子さんなど医療的ケア児については、親御さんが家で見ている、保育園では受け入れできなかった状況です。私自身も何年前に下半身不随のお子さんを受け入れたことがあります、トイレに移動するだけでも大変だと感じました。

このようなお子さんを一般の保育所に受け入れてどうなのだろうかと思うところがありますが、親御さんも働きに出なければいけないなど、親御さんの平等性を保つために医療的ケア児の受入れが始まったのだと感じております。

この件については、今後の計画に入ってくるころだとは思いますが、市としてどうお考えかお伺いします。

(議長)

はい。

事務局お願いいたします。

(事務局)

医療的ケア児の受入れについては昨今話題になっているところです。

こちらの理解を深めるところもありますが、看護師の確保など、先進の事例を参考にしながら、検討していきたいと考えております。

(委員)

ありがとうございました。

(議長)

はい。

続いてお願いいたします。

(委員)

たくさんの委員の皆さんのお話を聞きながら、乳児や幼児の子育て支援が少しずつ手厚くなっていると感じております。

その先の学童期、小学生や中学生が過ごしやすい学校生活や、学童保育を利用していないお子さんが利用できる公園や屋内施設の整備が1、2か所でもできれば、よりよくなると考えております。これが5年10年先ではなく、3年くらいでできれば、なおよいと思います。

先程もありましたが、校舎設備について保護者が感じる校舎設備の状況と、実際に使っている子どもたちが感じる充実度をヒアリングする機会はあるのかお伺いしたいです。

(議長)

はい。事務局お願いします。

(事務局)

まず、子どもが遊ぶ場所として児童遊園についてお答えします。

現在市内には46か所児童遊園があります。総合市民センターには充実した遊具が設置されておりますが、同様に福祉センターを中心に、集約するような形で遊具の整備を検討していきたいと考えております。

各児童遊園につきましては、各自治会に管理をお願いしておりますので、地域の声を聴きながら計画的に整備をしていきたいと考えております。

3年以内というのはなかなか難しいところですが、出来るだけ早期に対応してまいりたいと考えております。

(事務局)

続いて、学校設備の充実度につきまして、先程もありましたとおり、改修については多額の費用を要します。

なお、校舎の改修の一例としまして、現在は、トイレの洋式化について取り組んでおります。

子どもたちへのヒアリングについてですが、各学校でアンケートを実施しており、お子さんの意見は学校を通じて、教育委員会に上がってきています。

これを大事にしながら、今後の整備を行っていききたいと考えております。

(事務局)

補足で、屋内の施設についてお答えいたします。

屋外の施設だけですと天候に左右されてしまいますので、理想を言えば屋内の施設があるのが望ましいと考えております。設置場所等の兼ね合いもありますので、現段階では課題として受け止め、今後検討させていただきます。よろしくお願いいたします。

(議長)

はい。

茂原流のオリジナリティーある整備が出来ればと思います。これについては、学校等の空き教室の活用など工夫が必要だと感じます。

なかなか全市バランスよくというのは難しいかもしれませんが、モデル的なものでも早期に出来たらよいと思います。

それでは、議題以外にも、各委員から御意見をいただき、勉強になりました。

今いただいた御意見を生かせるものがあれば次年度以降、具体的に実施していただければと思います。よろしくお願いいたします。

以上を持ちまして、議長の任を解かせていただきます。ありがとうございました。

(その他 報告事項)

<事務局から、報告資料1～3に基づき説明>

【質疑なし】

(事務局)

本日の議事録を後日郵送にて送付させていただきます。加筆修正等がございましたら連絡をいただき、修正後茂原市ウェブサイトにて公表したいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

また、今年度の審議会は、本日を持ちまして最後となる予定です。

次回は、来年6月下旬を予定しておりますが、先程、御説明させていただいたとおり、任期満了に伴う改選の年でもありますので、来年3月に推薦書を送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。

改選となる委員の皆様におかれましては、長きにわたり委員をお引き受けいただきまして誠にありがとうございました。その他の委員の皆様におかれましては、次年度以降も委員の再任をお引き受けいただければ幸いです。